

## 平成25年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

### 1 議題

- 議案1 平成25年度事務事業進捗状況について  
議案2 消防概況について  
報告事項 千葉北西部消防指令センター概要について

### 2 開催日時

平成25年7月1日（月曜日）14時00分から15時00分

### 3 開催場所

総合福祉保健センター4階

### 4 出席者

- (1) 委員 鈴木定夫委員（委員長）  
末永富貴子委員 阿部万里亜委員  
若槻恵子委員 山田静雄委員
- (2) 事務局 川島正二郎消防長 皆川宏幸次長(事)消防総務課長  
栗原 豊予防課長 松本禎久警防課長  
西村 繁中央消防署長 田中悌二くぬぎ山消防署長  
林 正義鎌ヶ谷消防署長 松下晃通庶務係長  
安部真司主査 湯浅貴朗主任消防主事  
※長瀬正久委員（副委員長）は欠席

### 5 会議の公開 非公開について 公開

## 6 発言の要旨

- 消防総務課長 委員会条例第4条により委員長、副委員長の互選をお願いした。
- 委員長 鈴木委員  
副委員長 長瀬委員
- 消防総務課長 委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
- 消防長 平成25年度第1回消防委員会会議開会を宣言し、鈴木委員長に挨拶を求めた。
- 鈴木委員長 挨拶  
消防長 挨拶
- 消防総務課長 委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務める事を伝えた。また、会議録署名人に山田委員と若槻委員の2名を選出し、任期中は継続になることを伝えた。  
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長  
事務局 議案1平成25年度事業進捗状況について説明を求めた。  
議案1平成25年度事務事業進捗状況について、消防予算、職員研修、施設等、火災予防、救急救命、消防団について説明した。
- 鈴木議長  
事務局 議案2消防概況について説明を求めた。  
議案2消防概況について、最近3カ年の火災状況、最近3カ年の救急出動件数、傷病程度別搬送人数の説明をした。
- 鈴木議長  
阿部委員 各委員に質問を求めた。  
資料4ページに記載されている、消防車両整備事業で更新された車両は廃車するのか。何かりサイクルなどするのか説明を求めた。
- 消防総務課長 車両の更新は、鎌ヶ谷市消防車両更新計画に基づき、エンジンの調子、乗り具合及び機能の衰え等を勘案し、消防自動車は15年、救急自動車は9年又は10万kmを目安として更新しています。旧車両は、世界の国々の譲受要望を受けて、財団法人日本消防協会及び社団法人日本外交協会を受渡機関として、それら機関の要請により、世界各地にリサイクルを行っています。実績といたしまして、平成13年度からスリランカ、マレーシア、コロンビア共和国、シリア・アラブ共和国、ホンデュラス、タンザニア及びミャンマーへ消防ポンプ自動車を寄贈し、パラグアイ、チリ共和国及びペルーへ救急自動車を、また、東日本大震災時には岩手県陸前高田市に水槽付消防ポンプ自動車1台を寄贈しています。
- 末永委員 資料6ページ(5)かまがやまなびい大学学部主催講座のあんしん学部講座開催「消防セミナー」の今年度内容と前年度の実績について説明を求めた。
- 予防課長 平成25年度は平成26年3月頃に講座内容は未定ですが消

防セミナー開催を予定しています。平成24年度の実績は平成25年2月20日、中央公民館で早稲田大学客員研究員の浅野幸子氏を招き「あなた自身と家族、本当に守れますか 女性×男性の視点で総合防災力アップ」という演題で開催しました。

若槻委員

自治会や防火安全協会員52人の参加がありました。平成25年10月に「空き家等の適正管理に関する条例」について施行されると聞いたが、消防での対応は何かあるか説明を求めた。

予防課長

平成25年10月に「空き家等の適正管理に関する条例」が制定されたことを踏まえ、消防本部では火災予防条例に照らし合わせて前年度調査した283戸の内、指導疑いのある概ね100戸について再調査を行い、火災予防条例第24条（空地及び空き家の管理）に規定されている「空地の枯草等の燃焼のおそれのある物件の除去その他火災予防上必要な措置を講じなければならない」に該当した物件について、行政指導を行っています。

山田委員

本年度から通信業務が共同運用されていると聞いたが、消防団への影響について説明を求めた。

警防課長

4月16日から通信業務が共同運用され、現在までに5件の火災が発生し、その内、炎上火災で消防団に出動指令をしたものが1件です。

消防団への指令は、各分団のあらかじめ指定された5人に松戸市の共同指令センターから電話で連絡します。

電話は、音声装置によるもので、火災の種別、地番が流れ、各分団は電話連絡を受け、それぞれの連絡網を使って各団員に連絡し出動しています。

このような指令から出動までの流れは、昨年12月から実施しており、消防団の出動において現在のところ通信業務の共同運用による影響はありません。

鈴木委員長

山田委員と同じく、本年度から通信業務が共同運用されたことにより、これまでの通信指令室の設備と人員はどのようなになったのか質問された。

消防総務課長

従前、119番の受付等の通信業務は、鎌ヶ谷消防署通信指令室において消防職員13人により本市単独の運用を行っていましたが、本年4月16日からは本市と市川市、野田市、松戸市、流山市及び浦安市の6市による通信業務共同運用を行っています。

6市の規模といたして、面積294.63㎡、人口154万8,429人、世帯数68万4,969世帯を擁しています。

共同運用の場所は、松戸市消防局内に設置された千葉北西部消防指令センターで実施されています。

そのセンター職員は、各市の平成22年国勢調査人口の按分

で算出された48人の派遣職員により運営しています。

本市からも3人の消防職員を派遣しています。

ご質問の1点目の今まで使用していた通信設備は平成10年4月に整備し耐用年数6年のところ定期点検、修繕を重ね15年間使用してきました。通信業務共同運用が始まり通信設備は解体撤去いたします。

ご質問の2点目の人員配置ですが、従前の通信指令室員13人の内、3人は千葉北西部消防指令センターに派遣し、その他10人については指揮隊員及び救急隊員に配置しました。

指揮隊員は災害現場における安全管理及び活動方針を担当する消防隊で4月から新たに設置しました。

救急隊員は、増加傾向にある救急需要に応えるために配置したものです。

鈴木議長

他に質問等無く承認を求めた。

各委員

異議なしの声が発せられた。

鈴木議長

報告事項について説明を求めた。

事務局

千葉北西部消防指令センターについて資料に基づき説明した。

鈴木委員長

その他連絡事項がないか説明を求めた。

事務局

平成25年度第2回消防委員会開催時の時間について平成26年2月上旬の予定であり、詳細については別途連絡する旨、連絡した。

警防課長

消防委員会の参加する消防団行事（出初式H26/1/11、消防団辞令交付式H26/4/5）について連絡した。

鈴木議長

議案、質問等が無く会議閉会を宣言した。

## 7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成25年11月18日

氏名 山田 静雄

氏名 若槻 恵子